

平成 30 年 10 月 23 日

茨城大学人文社会科学部後援会事業
「2018 年度国際・地域共創メジャー巡検」終了報告書

国際・地域共創メジャー主任 田中耕市

I. 事業の主旨

国際・地域共創メジャー（以下、「メジャー」とする）2 年生が、地域のさまざまな問題・課題とそれに対する取組み等について学ぶために巡検を実施した。今年度は大洗町役場の多大な協力のもと、大洗町の各所を見学するとともに、町が抱える課題・問題等についてのインタビュー調査を実施した。この巡検は、メジャー2 年生必修の通年科目である「メジャー基礎ゼミ」と連動しており、学生等は前期（4～8 月）に大洗町の事前調査（文献・資料調査）を実施している。今回の巡検における現地視察やインタビュー調査で得られた情報をもとに、今後はメジャー基礎ゼミの各クラスにおいて地域課題・問題の解決策を検討して、最終的には大洗町に政策提案のプレゼンテーションを実施する予定である。

II. 概要

日時：2018 年 10 月 16 日（火）

参加者：計 100 名、うち学生 91 名（2 年生 86 名+3 年生 3 名+4 年生 2 名）、教員 9 名

移動手段：大型バス 2 台

III. 当日の動向

10:25 茨城大学水戸キャンパスを出発

11:10 大洗町役場到着

大洗町職員 4 人の案内により車窓から町内全域を見学

- ・きらめき通り
- ・大洗駅
- ・五反田（住宅地）
- ・アクアワールド
- ・大洗磯前神社
- ・魚市場周辺
- ・大洗サンビーチ
- ・原子力機構
- ・湊沼（夕日の郷・松川）
- ・大洗南小中前

12:30 市場周辺で解散、各自で昼食
14:00 中央公民館でインタビュー調査
14:15-15:15 第1セッション
15:30-16:30 第2セッション
16:40 中央公民館を出発
17:30 水戸キャンパスに帰着

IV. インタビュー調査について

1. 概要

インタビュー調査は、第1（14:15-15:15）と第2（15:30-16:30）の2セッションに分けて実施した。下記の4つのブースにおいて、それぞれのテーマに係る担当課から地域の問題・課題についての説明を受けたうえで、質疑応答を実施した。

2. ブースとご担当課

- ①観光（ガルパン含む）・・・商工観光課
- ②福祉（少子化含む）・・・福祉課／こども課
- ③地方創生／外国人／人口減少／ふるさと納税・・・まちづくり推進課
- ④防災・・・生活環境課

V. 参加学生の学習状況について

午前中は、4人（各バス2人ずつ）の大洗町職員による説明を受けつつ、学生らは車窓から町の各所を見学した。東日本大震災による被災後に再整備された防潮堤や道路、震災後に拡大が続いている住宅地、首都圏から多数の観光客を呼び込む一大観光施設であるアクアワールドや大洗サンビーチ、原子力研究施設の原子力機構、ラムサール条約に登録された涸沼など、実際に見ながら詳細な説明を受けられたため、学生の理解はより深まった。午後には、大洗町が抱えている諸課題・問題について上記の各担当課から直接説明を受けて、事前調査では得られなかった詳細な情報を得ることができた。各セッションの後半では、学生から担当課に対して様々な質問がなされ、活発な質疑応答が展開された。今回の巡検における現地見学やインタビュー調査で得られた情報をもとに、今後は通常授業のメジャー基礎ゼミの各クラスにおいて地域課題・問題の解決策を検討する。12月には全クラス合同による全グループの成果発表会をコンペティション形式で実施して、そのうちの優秀な提案について、2019年1月または2月に、大洗町に政策提案のプレゼンテーションを実施する予定である。

VI. 巡検の様子（参考写真）



写真 1 中央公民館前にて



写真 2 今村大洗町議会議長のご挨拶



写真 3 ブース③地方創生等



写真 4 ブース③地方創生等



写真 5 ブース④防災



写真 6 ブース①観光



写真 7 ブース②福祉



写真 8 ブース②福祉



写真 9 学生からの質問の様子



写真 10 学生からの質問の様子

以上